

5-2 支部助成審査検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 支部助成審査検討WGの開催

令和5年7月3日にメール審議によるWGを開催し、各支部から出された助成申請を審査した。

(2) 活動の目的

本WGの目的は、支部助成金審査ガイドラインに沿って、各支部申請活動の目的を審査し、交付する助成金を整理し、常任委員会（中期行動計画関連）へ提案することである。申請に対する採択の判断規準は、「ガイドライン」に従い以下を基本とする。

- a) 協会の社会貢献活動にふさわしいもの
- b) 一般市民を対象とし、協会活動への理解が深められるもの(会員を主体としたものは、場合により一部除外も考慮)
- c) 公共事業のあり方などを発注者に働きかける活動

(3) 令和5年度の活動

支部から申請された活動予定案件に対してWGを開催して審査し、支部助成金の趣旨に沿うか沿わないかを吟味・確認し、今年度の申請案件は基本的にすべて採択した。各支部の活動予定が、新型コロナの影響を受けるものもあるため、助成金配分時には当初配分と、コロナ禍の状況を踏まえた実施後配分とに分けて、助成金の執行をするものとした。最終的に別表のように35件が実施され、実施案件の助成金の実績総額は24,550千円であった。それぞれの活動は協会の活動方針に即しており、有効なものであると判断した。

なお、助成対象となる活動については、協会会員を対象とした支援を意図した活動は対象としない。申請事案において、会員、非会員双方を対象とした企画における助成金の取り扱いについては、今後の検討課題である。

2. 次年度の活動について

次年度も予算枠は25,000千円を基本とし、「ガイドライン」に基づき募集・審査を行う予定で

ある。本助成金は中期行動計画の支部での実践活動を助成するものであるが、各支部は工夫を凝らした多彩な活動を展開していると考えられる。

令和5年度 支部助成金支給実績

支部	活動名	助成額 (千円)
北海道	① 大学・高専生への広報活動の継続	250
	② 社会資本整備等に関する広報冊子配布	—
	③ 社会資本整備をテーマにした講演会実施	—
	④ 出前講座の継続	540
	⑤ 小学生対象の体験・見学会・コンテスト実施	180
東北	① 高校生「橋梁模型」作成発表会	300
	② 支部「講演会」の開催	1,600
	③ 技術系学生に対するの業界説明会の開催	600
	④ 「JCCA TOHOKU」発行	100
	⑤ 「若手の会」交流会	400
関東	① 「グローバル関東」発行	1,800
	② 学生への広報活動	1,000
	③ 出前講座	200
北陸	① 建設コン PR 冊子及び PR グッズの制作	2,369
	② 出前講演等	50
	③ 「合同企業セミナー」への参画	300
	④ 「土木フェスティバル」への参画	50
	⑤ ボランティア活動への参画	231
中部	① 中部の広報活動の推進(コンサルタントフェア)	1,650
	② 中部の広報活動の推進(広報誌)	900
	③ 業務技術発表会の開催	300
	④ 地域への貢献活動	150
近畿	① 広報誌「クリエイトきんき」の発行	1,500
	② 近畿の社会資産共有活動	800
	③ 建設コンサルタントの魅力発信広報活動	700
中国	① 生産性向上や業界認知向上の活動等	500
	② 防災教育等に関する活動への参画	1,200
	③ まちづくり、アイデア集等での発信	1,200
四国	① 働き方改革の推進に向けたセミナーの開催	100
	② 広報誌「JCCA しこく」の発行	782
	③ 発注者との技術交流会の開催	348
	④ 学校教育・生涯学習への支援活動等	1,450
九州	① 地域の夢・アイデア募集事業	1,250
	② 地域の夢・アイデア交流事業	1,400
	③ 地域の夢・アイデア実現化事業	350
合 計 (35 件)		24,550

(支部助成審査検討WG WG長 万名 克実)